



蚊・ダニから 身を守れ!



蚊やダニの中には病気をもっているものがあり、刺されないようにすることが大切です

【蚊が運ぶ感染症】デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症・日本脳炎 など

【ダニが運ぶ感染症】日本紅斑熱・つつが虫病・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)・ダニ媒介性脳炎・ライム病 など

SFTSについて

宮崎県内では、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の報告数が全国で最も多く、死亡者も出ています

症状：発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）がみられ、時に、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状なども出現します

潜伏期間：6日～2週間程度

ダニ対策

蚊・ダニに刺されないためには？

- 肌の露出を少なくする
*帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻く など
*シャツの裾はスポンの中に、袖は手袋の中に、スポンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する（「ディート」や「イカリジン」を含むものが有効です）
*屋外活動後はシャワー浴や入浴をし、マダニに刺されていないが確認



蚊対策

蚊を発生させないためには？

- 幼虫が発生しそうな水たまりの除去・清掃を定期的に行いましょう
- 下草を刈るなどして、成虫が潜む場所をなくしましょう

ダニに刺された時の対処法は？

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置をしてもらいましょう
- ダニに刺された後、数週間は体調の変化に注意し、発熱などの症状が認められた場合には医療機関を受診してください
- 受診時には、①ダニに刺されたこと②場所③発症前の行動を伝えてください



ペットのダニ対策

- ダニ駆除剤の使用等について獣医師に相談
- ペットが外から帰宅したらダニがついていないか確認
- ダニが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院へ
*ペットを介して、庭や屋内にダニが持ち込まれることがあります